

## 復興庁入札等監視委員会第2回定例会議議事審議概要

|   |   |   |
|---|---|---|
| 開催日及び場所   | 平成27年8月4日（水）、復興庁本庁  |   |
| 委員  | 阿部 博友 一橋大学大学院法学研究科教授<br>檜谷 隆夫 公認会計士・税理士<br>中里 実 東京大学大学院法学政治学研究科教授<br>【敬称略（五十音順）】  |   |
| 審議対象期間  | 平成26年10月1日（水）～平成27年3月31日（火）   |   |
| 抽出案件  | 3件  | （備考）  |
| （内 訳）   |   | 抽出事案審議の他に調達改善に係る取組について報告を行った。   |
| 競争入札  |   |   |
| 最低価格落札方式  | 1件  |   |
| 総合評価方式  | 1件  |   |
| 随意契約  |   |   |
| 企画競争  | 1件  |   |
| 公募  | 件   |   |
| 不落・不調   | 件   |   |
| 特命（企画競争及び公募を除く）   | 件   |   |
| 応札（応募）業者数1者   | 2件  |   |
| 委員からの意見・質問、それらに対する回答等   | 意見・質問   | 回答等   |
| （契約方式）<br>競争入札 最低価格落札方式<br><br>（契約件名）<br>復興庁福島復興局における自動運行管理業務 | 福島復興局の自動車運行管理業務は合計で8台について行うことになるのか。<br><br>当該案件の落札業者が復興局の自動車運行管理業務の全てを行うことになるのか。<br><br>競争参加資格の要件の緩和は既になされているということだが、それ以外に何か工夫が必要である。<br><br>復興局別の調達・競争性の確保に尽力されたい。 | はい。<br><br>年度当初、岩手復興局、宮城復興局及び福島復興局の3局が所有する自動車について、まとめて一つの運行管理業務として入札を実施した。その時の落札者と当該案件の落札者が結果として同じ者になったものである。 |
| （契約方式）<br>競争入札 総合評価落札方式<br><br>（契約件名）<br>復興状況の把握のための統計デー      | この業務は、内部の者にはできないようなものなのか。   | 役所が行うと、偏ったものに仕上がってしまうこと、また、人手が足りないことから、外注している。  |

|   |   |  |
|---|---|--|
| <p>データベース更新及び充実等に関する調査事業</p> <p>応札業者数 1 者案件</p>                                 | <p>これは継続的なものなのか、また、毎年度行っているものなのか。</p> <p>この落札者がずっと行っているのか。</p> <p>入札に参加しなかった者に、参加しなかった理由を聞いたことはあるか。</p> <p>シンクタンクは、他にも業者はいろいろいる。どうして1者になってしまったのか、分りにくい。<br/>この落札者が、2回目か3回目の事業実施に係る契約をしており、アドバンテージを持っていることが有利に働いたのか。或いは、この落札者の技術力が極めて高いので、この者だけ応札したのか。その辺の理由は、分からないのか。</p> <p>引き続き、複数の業者に入札を呼びかけること、競争性の確保に尽力することではないかと思う。</p> | <p>23年度から毎年度行っており、基本的には、今後も継続していきたいと思っている。</p> <p>最初の契約は、別の業者。</p> <p>入札説明会に参加した業者及び入札説明書の交付を受けた業者に対して、参加しなかった理由を確認している。<br/>主な理由としては、履行するために必要な技術力が十分に備わっていなかったこと、人材不足があげられた。</p> <p>業者に話を聞いたところ、最近では人件費が高くなってきているとのこと。<br/>この種の業務は費用のほとんどが人件費であり、利益が上がりにくいためではないかと思う。</p>  |
| <p>(契約方式)<br/>随意契約 企画競争</p> <p>(契約件名)<br/>被災者支援コーディネート事業</p> <p>応募業者数 1 者案件</p> | <p>当初の企画競争説明会には7者が出席したものの、応募者は1者もいなかったということか。</p> <p>当初公告のときは、A又はB等級が要件だったから、その時には、再度公告（公募）のD等級の応募者が応募できないことを分かっていたのではないのか。</p>   | <p>当初の公告時では、競争参加資格要件としての等級は、A又はB等級とした。説明会には7者が出席、その中にはA等級の者とB等級が数者いたので、複数の応募者が期待されていた。しかし、結果として、当初公告では応募者がいなかった。</p> <p>当初公告で応募者がいなかったのは何故か、原因等調査・分析した結果、当該事業は、等級が高くない事業者の方が、地域における活動に従事しており、地域の実情をよく把握し、また、経験豊富であることから、具体的な企画提案等を行える能力があることが確認された。このため、競争参加資格要件の等級を改めることとした。<br/>その結果、応募者が1者現れた。</p> <p>調査不足だった。予定価格に見合った等級のA又はB等級が応募してくるものと見込んでいた。十分な見通しができていなかった。</p> |

|                        |  |   |
|------------------------|--|---|
|                        | <p>企画競争により契約することが妥当な案件であっても、契約実績によりノウハウを取得した段階で、総合評価落札方式に移行していくというステップをとられたということか。</p> <p>そのようなステップをとられたことは評価する。</p> | <p>この事業は、今後も継続的に進めていく予定であり、平成26年度におけるこの案件で、業務の詳細、費用等、その程度を学習した。その経験に基づき、平成27年度では、企画競争よりも公正性や透明性に優れ、競争性の高い方式の総合評価落札方式による入札を行った。そのようなことから、手続面については、改善されたものと認識している。</p> <p>はい。</p> |
| <p>委員会による意見等の具申の内容</p> | <p>なし</p>  |   |

※必要があるときは、各欄の配置を著しく変更することなく所要の変更を加えることその他所要の調整を加えることができる。